

成果指標				
成果指標	申請件数			
指標設定の考え方	水道施設の給水区域外(未給水地区)における飲料水の安定的な確保のため、飲用井戸施設の整備をしてもらうことが目的であるため、その申請件数が成果と考えるため。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1	0	0	0
実績	3	3	3	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業について、人口減少に伴い、高齢化が進むなかで事業実施に伴う負担金が高額となり、老朽化した施設の整備に消極的になっている。そういった現状をかんがみて、補助率の見直しを検討し、個人負担の軽減を図ることも必要なのではないかと考える。そうすることにより、未給水区域において利用している施設の改修実施が多少でも増加するのではないかと考える。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業は、水道普及率の低い双海・中山地区の未給水地区を対象に安定した水の供給を行い生活基盤を確保するものである。水道施設の整備が難しい地区においては、重要な事業であると認識しているが、地域においては、対象戸数が少なく、高齢化が進む中で事業実施に伴う負担金が高額となるなど施設整備に消極的になっている場所。今後、本事業の促進を図る上でにおいては、事業の周知に力を入れるとともに補助金等のあり方についての検討も必要と考えている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題